

注3

**大学番号：307**

[平成27年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

**認可**

関西国際大学大学院看護学研究科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人濱名学院  
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 企画部長 横田 利久

電話番号 0794-84-3500

（夜間） 0794-85-2288

F A X 0794-85-1102

e-mail pres-sec@kuins.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 ○〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 看護学研究科

<看護学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	17
7. その他全般的事項	18

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人濱名学院

## (2) 大学名

関西国際大学

## (3) 大学の位置

〒673-0521

兵庫県三木市志染町青山1丁目18番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハマ アツシ) 濱名 篤 (平成18年6月)		
学長	(ハマ アツシ) 濱名 篤 (平成17年4月)		
研究科長	(タカミザワ エミコ) 高見沢 恵美子 (平成27年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
看護学研究科 看護学専攻(修士課程)  修士(看護学)	2年	6人	12人	基礎となる学部等 保健医療学部 看護学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成27年度		平成28年度		-		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	-	-		
A 入学定員	6人 (-) [-]	-	6人 (-) [-]	-	-	-	(-) [-]	-	1.0 倍	
志願者数	6 (6) [-]	- (-) [-]	7 (7) [-]	- (-) [-]	-	-	(-) [-]	(-) [-]		
受験者数	6 (6) [-]	- (-) [-]	7 (7) [-]	- (-) [-]	-	-	(-) [-]	(-) [-]		
合格者数	6 (6) [-]	- (-) [-]	6 (6) [-]	- (-) [-]	-	-	(-) [-]	(-) [-]		
B 入学者数	6 (6) [-]	- (-) [-]	6 (6) [-]	- (-) [-]	-	-	(-) [-]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.0		1.0		-					

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成27年度		平成28年度		—		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 6	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 6	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -			
2年次	/		[ - ] ( - ) 6	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -			
3年次			[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -					
計	[ - ] ( - ) 6		[ - ] ( - ) 12		[ - ] ( - ) -				

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
			平成27年度 入学者	6 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人	-	
平成28年度 入学者	6 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	-	0 %
合 計	12 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻（修士課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	看護理論	1春		2		2	4				兼1 担当教員就任辞退の為、 非常勤講師による対応 担当者 非常勤講師 永田壽子 担当教員を採用予定 (27)
	看護倫理	1春		2		2 3	4				兼1 担当教員退職のため、 非常勤講師による対応 (28)
	看護マネジメント論	1秋		2			1 2				兼2 兼4 担当教員就任辞退の為、 非常勤講師による対応 担当者 非常勤講師 青木菜穂子 担当教員を採用予定 (27)
	看護研究方法論	1春	2			1 2	1				兼1 担当教員就任辞退の為 非常勤教員による対応 担当者 非常勤講師 ケレック美鈴 担当教員を採用予定 (27) 担当者 非常勤講師 鈴木久美 (28)
	保健・医療・福祉政策特論	1秋		2		4					兼2 担当教員辞職の為 兼任教員による対応 (28)
	フィジカルアセスメント	1秋		2		1					兼1
	コンサルテーション論	1秋		2		1	4				兼1 担当教員就任辞退の為、 非常勤教員による対応 担当者 非常勤講師 青木菜穂子 担当専任教員を採用予定 (27)
	看護教育論	1秋		2		3					
専門科目	基礎看護学	基礎看護学特論	1春		2		1	1			
		基礎看護学演習	1~2		8		1	1			
	療養支援看護学	急性看護学特論	1春		2		1				
		急性看護学演習	1~2		8		1	1			
		慢性看護学特論	1春		2		1		1		履修希望者がいないため非開講 (28)
		慢性看護学演習	1~2		8		1		1		履修希望者がいないため非開講 (28)
		がん看護学特論	1春		2		1				
		がん看護学演習	1~2		8		1				
	家族支援看護学	小児看護学特論	1春		2		4				
		小児看護学演習	1~2		8		4				
		母性看護学特論	1春		2		1				兼1 西村正子就任辞退 担当教員採用予定 (27) 西村正子就任辞退のため 非常勤講師による対応 (28)
		助産看護学特論	1春		2		1				
		母性・助産看護学演習	1~2		8		1 2				西村正子就任辞退 担当教員採用予定 当該科目は他に担当者がある ため問題はない(27)
	老年看護学	老年看護学特論	1春		2		1	1			
老年看護学演習		1~2		8		1	1				

生活 支 援 看 護 学	在宅看護学特論	1春	2		4	1		兼1	担当教員が就任辞退の為 非常勤講師による対応 担当者 非常勤校 青木菜穂子 担当教員を採用予定(27) 履修者がいない為未開講(28)
	在宅看護学演習	1~2	8		4	2		兼1	担当教員が就任辞退の為 非常勤講師による対応 担当者 非常勤講師 青木菜穂子 担当教員を採用予定(27) 履修者がいない為未開講(28)
	公衆衛生看護学特論	1春	2	1					
	公衆衛生看護学演習	1~2	8	1		2			
	特別研究	1~2	8		8 7 8	4 3 4			担当教員が就任辞退の為 担当教員を採用予定(27) 担当者の追加(28)

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

・ 授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上

で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。

・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)

・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
1	27	-	28	1	27	-	28	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	小児看護学特論	2	1	専門	選択	専任教員退職による。履修者がいないため、今年度は代替措置は設けませんが、次年度に向け担当教員を採用すべく対応している。
2	小児看護学演習	2	1~2	専門	選択	専任教員退職による。新たな履修者はいないが、既に履修している学生に対して、非常勤講師による対応を検討している。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当教員が退職となったが、後任が未定であるため、一部開講できなかった科目があることは遺憾である。今後はこのようなことが無いように十分に配慮したい。現状未開講の科目となっている科目のうち「小児看護学特論」については履修希望者はおらず、「小児看護学演習」については、非常勤講師が見つかり次第開講することを予定している。学生への周知については、事前に連絡を行い混乱をきたさないように配慮している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{7.0\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	9,150.59㎡	-	-	9,150.59㎡			
	運動場用地	48,543.25㎡	-	-	48,543.25㎡			
	小 計	57,693.84㎡	-	-	57,693.84㎡			
	そ の 他	25,068.46㎡	-	-	25,068.46㎡			
	合 計	82,762.3㎡	-	-	82,762.3㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	31,536.95㎡ ( 31,536.95㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	31,536.95㎡ (31,536.95㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 語学学習施設は、情報 処理学習施設と一部兼 用となっている（CALL 3室）。		
	23室	44室	16室	5室 (補助職員0人)	0室 (補助職員0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			3名の教員退職による減（ 27） 教員採用のため増（28）		
	看護学研究科看護学専攻		16—13 14 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				点
	看護学研究科 看護学専攻	22,000 [1,500] (20,000 [1,460])	72 [24] (70 [24])	5,530 [2,920] (5,509 [2,913])	680 (630)	6,520 (5,734)	51 ( 51 )	大学全体で共用 図書 13,550冊 学術雑誌 1,540種 視聴覚資料 3,370点
	計	22,000 [1,500] (20,000 [1,460])	72 [24] (70 [24])	5,530 [2,920] (5,509 [2,913])	680 (630)	6,520 (5,734)	51 ( 51 )	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		三木キャンパスのみ	
	1,811㎡		291		184,444			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,404.40 ㎡		テニスコート5面		該当なし			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	7,500千円	9,500千円	9,500千円
		共同研究費等	8,640千円	8,640千円	設備購入費	2,000千円	-	-
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,000千円	8,000千円					
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、法人内資産移動などを運営費に充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学 の 名 称		関西国際大学							備 考
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は 称 号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
教育学部									
教育福祉学科	4	150	-	600	学士 (教育福祉学)	1.12	平成19 年度	兵庫県尼崎市潮 江1丁目3番23号	
英語教育学科	4	50	-	200	学士 (英語学)	0.88	平成19 年度		
人間科学部									
経営学科	4	100	3年次 20	440	学士 (経営学)	0.86	平成23 年度	兵庫県三木市志 染町青山1丁目18 番	
人間心理学科	4	125	-	500	学士 (行動科学)	0.88	平成19 年度		
保健医療学部									
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.19	平成25 年度		
大学 の 名 称		関西国際大学大学院							備 考
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は 称 号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍			
人間行動学研究科									
人間行動学専攻	2	8	-	16	修士 (人間行動学)	0.37	平成17 年度	兵庫県三木市志染 町青山1丁目18番	
臨床教育学専攻	2	8	-	16	修士 (教育学)	0.37	平成26 年度	兵庫県尼崎市潮江1 丁目3番23号	
看護学研究科									
看護学専攻	2	6	-	12	修士 (看護学)	1.00	平成27 年度	兵庫県三木市志染 町青山1丁目18番	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (平成27年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	留意事項	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合は、認可時には4名であったが、1名の退職により3名となった。後任の教員については、現在未定であるが、全体の年齢構成を踏まえた配置としたい。また、将来の教員組織編成についても、教育研究水準の維持向上及び活性化に支障をきたさないよう、採用計画を作成していく(27)。	
	大学院の目的を基に、グローバルな視野の下で保健・医療・福祉の今後の発展に寄与できる人材を養成することは理解できるが、そのための方策として挙げている「看護研究方法論」において海外文献の収集並びに分析・解釈能力を高めることについては、一般的な修士課程で普遍的に行われる内容であることから、それ以外の方策も追加して人材養成を行うことが望ましい。	その他意見	大学院の目的を基に、グローバルな視野の下で保健・医療・福祉の今後の発展に寄与できる人材を養成するための方策として、国際大学として培った40余りの提携校と連携を進め、看護学領域における他国研究者との交流の機会を増やしていくことや、国際看護に関する科目の追加なども視野に入れながら人材の養成に努めていく(27)。	
設設置計画履行 状況調査時 (平成28年3月)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること	改善意見	教員組織の段階的の整備をおこなっており、平成28年度から研究指導教員、研究指導補助教員合せて12名の体制となり、平成27年度には定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が30%であったものが、平成28年度には25%となるなど改善している。	

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

## 7 その他全般的事項

<看護学研究科 看護学専攻（修士課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>オ. 教員組織の編成の考え方及び特色            完成年次における専任教員の年齢構成            教授 50-59歳 4人、60-69歳 4人、70-79歳 1人            准教授 40-49歳 1人、50-59歳 4人            講師 40-49歳 3人</p> <p>ク 自習室について            3室で17席を用意する</p>	<p>オ. 教員組織の編成の考え方及び特色            完成年次における専任教員の年齢構成 (28)            教授 50-59歳 3人、60-69歳 3人、70-79歳 1人            准教授 40-49歳 1人、50-59歳 3人            講師 40-49歳 3人</p> <p>ク 自習室について            3室で17席確保する予定であった自習室について、学生が共同で学修を行うことができるように、1室で15席を確保できる自習室へ変更した (28)</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>高等教育研究開発センターの下に、教育開発部門と初年次教育部門及びキャリア教育部門が設置されている。各部門にはそれぞれ委員会が設置されており、そこで協議しつつ、教員の資質の維持向上のために取り組んでいる。また、FD活動は教育開発委員会が中心になり進めている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>定例委員会を原則として毎月1回開催し、必要に応じて臨時委員会を開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学位授与の方針及び教育課程編成の方針に基づいた教育の実施に際して必要な教育方法及び評価方法の開発と普及に関する事項</li> <li>・ 授業のアンケートに関する事項</li> <li>・ シラバスに関する事項</li> <li>・ FD及びSDに関する事項</li> <li>・ 卒業研究登録資格認定試験に関する事項</li> </ul> <p>② 実施状況（2015年度実績）</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関西国際大学における教育の方向性についての共有</li> <li>・ 学期の主題に関する研修</li> <li>・ アドバイジング</li> <li>・ IRデータによる現状把握</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学FDにおけるワークショップ、内部教員及び外部講師による研修等</li> </ul> <p>c 開催状況            (2015年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回 (8/19・20) 「深い学び」を実現する教育実践の構築</li> <li>・ 第2回 (9/17) 「深い学び」を実現する教育実践の構築</li> </ul>
--

- ・第3回 (2/18) 「価値の発見」を実現する教育～3つのポリシーの理解と共有を基盤として～
  - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ・2015年度に主として取り組んだ、学期ごとの主題設定については各学科で導入している。また、IRデータによる本学の教育の強み・弱みについては、全員で共有し、各学科においてそれを踏まえた取り組みを行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
- ・授業評価アンケートは、学期末及び学期の中間時期に実施予定。
- b 教員や学生への公開状況，方法等
- ・授業評価アンケートは、結果を集計・分析し、教授会での報告と併せて学内ネットワークで教員や学生に公開する。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入学者において、兵庫県北播磨地域の現役看護専門職者が多く入学したことは、本研究科の設置の目的である”地域における看護の質向上”を具現化する大きな一歩である。今後は、設置計画を誠実に履行し、着実に人材を養成することが期待される。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
  - ・平成28年5月31日 公表予定
- b 公表方法
  - ・大学ホームページ上に公開
  - ・自己点検・評価報告書の刊行

③ 認証評価を受ける計画

平成27年度に財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、平成28年3月8日付けで、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている。」と認定された。再評価については、現状において未定であるが、次回の評価に準備を行っている。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 2016年 7月 1日 )